

洋書輸入協会会報

VOL. 8
NO. 8

(通巻88号) 昭和49年8月

理事会報告

7月10日(水)

- (一) 雑誌資料委員会から最近の活動状況につき報告。(国際書房服部氏)

若干の意見がだされたが、理事会として原則的に了承。

- (二) 6月分収支計算・予算対比表の検討。

- (三) 西独ブック・クラブの活動開始についてDie deutsche Buch-Gemeinschaft が東京に事務所を開設した旨の情報があった。

- (四) 入会審査

厚生社(代表者谷口定一氏 大阪市北区堂島西町40)の入会を審査。可決。紹介者: 独亜書院、旭屋書店。

7月26日(金)

- (一) 通関委員会提案

各社の実務担当者を召集して現況説明、研修をおこないたい。8月下旬を目標として、通関委員会に一任することに決定。

- (二) 各委員会の組織について検討。

- (三) コンピューター化にともない、外国の出版社から、雑誌のリニューアルを早めたいという希望を表明されていることについて検討。

- (四) 諸情勢について討論。

- (五) その他。

通関委員会報告

東京税関東京外郵出張所に次の方がたが新任されました。

東京外郵出張所長

高野 敏夫氏

統括審査官 輸入第一部門担当

栗原 増雄氏

広報官 Book 通関及び広報担当

玉田 武司氏

審査官

木本 克彦氏

前所長野村光司氏は退官され、統括審査官垣内兼雄氏は本館事後調査課へ、広報官田口亮一氏は大井埠頭出張所管理課へ、審査官山舗俊夫氏は本館会計課へ転任されました。東京外郵ご在任中、通関手続きにつきご指導いただきましたことに感謝し併せて報告いたします。

理事会報告.....	1
通関委員会報告.....	1
本の本圖書展.....	2
文化厚生委員会報告(開基大会)...	2
実務シリーズ No. 26.....	3
欧文 日本関係文献目録	

Book Review No. 18.....	5
(Leon Bakst)	
外国出版社の紹介 No. 30	6
タイムズ ミラー社	
海外ニュース.....	5
ニュース.....	7

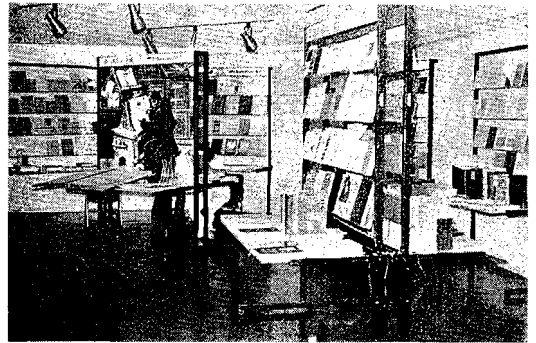
通関統計.....	7
新入会員のお知らせ.....	7
厚生社 谷口定一氏	
総代理店御案内.....	7
おしらせ.....	7
広告(ナウカ株式会社)	8

「本についての本展」を観る

都立中央図書館とドイツ出版協会の主催による上記の展覧会は、7月10日から24日の2週間にわたって、中央図書館展示室を会場として開かれた。この展示会は1972年のユネスコ国際図書年に協賛して企画されたもので、1972年のフランクフルト書籍展で最初の公開が行われているから、会員の中にはすでに同展で見学された方も数多いと思われる。その後世界の30数ヶ国で巡回展示が行われることになり、今回の日本での開催となったものである。

一般に書籍展というものはまとまりがなく、間口ばかり広がってしまっていて観る者を疲らせてしまうものだが、この小じんまりした展示会は「本の本」というテーマに沿ってかっちりとまとめられており、その構成も見事なものであった。それは「著者」「本造り」「読書」「図書と紙の歴史」「図書館学」といった16のカテゴリーに分けられており、本を作るもの、売るもの、読むもの、愛するもの、管理するもの、各々その立場に立ってどのような本が出ているかを見ることが出来るもので、特に我々にとっては「流通機構」とか「ビブリオグラフィー」「業界誌」といったところに興味が注がれた。

専門的な眼で見れば、やはり物足りぬ点もあり、それは又、我々洋書業者が日常いかに多くの本や、その宣伝物に接しているかを改めて考えさせられもするものであったが、多少とも本に興味をもつ人、特に若い人等には大いに



資するところがあったことであろう。

同展のため来日したドイツ出版協会の R. Weber 氏は、1969年の「ドイツ新刊書展」(国会図書館に於て開催)の際も日本に来たことがあり、これが二度目の東京であるが、中央図書館の協力に心から感謝すると共に、その環境の良さを特に強調していた。

後日、中央図書館から伺ったところ、会期中の入場者は4,700人を数えたとのこと。そして、それら入場者の多くから「入手の方法が判らない」「洋書店に注文しても、なかなか手に入らない」といったような苦情が主催者に寄せられたとのことである。これは我々業者が既存のマーケットによりかかり、潜在する需要層の開発に欠けるところがあることを示すものではないだろうか。(K.S.)

文化厚生委員会だより

第七回 春季 囲碁大会

6月29日、石毛、時元両先生のほか21名の参加を得て会場の箱根仙泉閣に向う。車中はやくも携帯碁盤で手合せを始めるあり、それを囲んで傍目八目の言を成すありでマニア同志ならではの和気あいあいとした雰囲気、ロマンスカーが箱根のホームにすべり込んだのも気付かぬ程である。道々、曇り空の下に紫陽の花が芽々しい。そう言えば毎年大会の催されるのは、この花の盛りの季節である。

夕食の後、十二面の碁盤を挟んで歓声歓声交々の中に決定した成績は次の通りである。

A級 優勝 高瀬(サイティック)

準優勝 紫山(洋販)

〃 大野(海外出版貿易)

B級 優勝 川崎(海外出版貿易)

準優勝 加藤(南江堂)

〃 田所(マクミラン)

＜優勝者は昇段＞

翌日、朝食後表彰式に移り、渡辺文化厚生委員長より来年度から優勝カップを制定したいとの提案があった。前庭のプールの面を明るく雨の叩いている会場を後に、次回を約して帰路についた。



欧文「日本関係文献目録」 その6

八 木 佐 吉

8: The Jesuit Mission Press in Japan, 1591-1610.

By Ernest Mason Satow. Privately Printed.
(London). 1888.

アーネスト・サトー編著

「日本ヤソ会刊行書誌」ロンドン、1888年私刊。

この書誌はクオート版（約23×28.5cm）、総紙数45丁程で100ページに足りないものであるが、これが日本の学界、一般読書人の間に与えた影響は量り知れないものがある。わが国のキリスト教布教史研究と南蛮学・東西交渉史研鑽の黎明を告げ、その期に最初の指導的役割を果たした記念すべき文献なのである。今、ここで日本に於けるキリスト教の伝道史をやや精しく記している余裕はない。しかしサトー書誌の関連している範囲の要点のみを記すこととする。1549年にフランシスコ・ザビエル等が九州に上陸して、わが国にキリスト教の種をおろして以来、急速に伝道の実を挙げて、1582年には大友家等三大名のローマ法王庁への使節を派遣するまでに至った。「天正遣欧少年使節」伊東マンショ、原マルチノ等で、指導者はヴァリニャーニ師であった。この一行が1590年に八年ぶりの帰国に際し、ヨーロッパ式の印刷機と活字鑄造具その他印刷用道具類をもたらした。これ等の要具を使用して、イエズス会（ジェスイット）が、わが国内で活版印刷した書物を一般に「日本ヤソ会版」または「きりしたん版」と称して一段と珍重されているのである。周知の如く、わが国ではキリシタン禁制のためこの種のものの伝本は極めて稀れであったが、ヨーロッパ各地に収蔵のものを合せて、1973年現在29種の標題の書物と断片零葉数種が判明している。刊年は1591年～1610

年の約20年間に亘る。（これに使節等が帰路ゴア、マカオにての刊行書四編を加える向きもある）。

しかし、サトーはその書誌刊行当時ヨーロッパ各地を探访して14種の刊本を確認し得て収録しているのみである。

そのサトーも「きりしたん版」に就いては先に解題した *Pages* の「日本書目」におうこと大だったのである。英国外交官サトー（1843—1929）はイギリス公館の日本語通訳として1862（文久二年）来日し、幕末明初の日本の姿をつぶさに目にしてもいるし、また徳川慶喜、若き日の明治天皇にもお会いしていることなどは、自伝 *A Diplomat in Japan, 1921. Seeley, London.* に精しく述べられている（Oxford 版リプリント在り）。サトーは恐らくは江戸（東京になる前に）で、きりしたん版「落葉集」（1598年刊、字典）を掘し出していたらしく、後年これを大英博物館に寄贈している。この様に日本での書籍漁りにも熱心であったサトーは明治16年（1883）いったん帰国して欧米各所シヤム等を経て明治28年（1895）には駐日英公使となって再来日してくる。今度は金沢で天下の孤本のきりしたん版「太平記抜書」6巻（刊年不詳）を新発見した。この本は後^{ぬきがき}に内大臣田中光顕に贈られて、幸にも今は天理図書館に収まっている。サトーは明治31年の「日本亜細亜協会誌」（TASJ）に「日本ヤソ会刊行書誌」の追録を寄せた。それには「太平記抜書」と水戸徳川家蔵の「ドチリナ・キリシタン」（1600年長崎刊）が紹介解題されている。これで「きりしたん版」は16種世に紹介された。日本の史学界ではすでに仙台の支倉六右衛門の遺物発見、仏人クラッセ

著「日本西教史」が明治11年に翻訳出版されているが、未だ一般の注目をひくに足りなかった。が、サトーの書誌の出現以後この方面の研究はわが学者の間に漸次に浸透していった。明治25・6年ごろから30年代にかけては渡辺修次郎、坪井九馬三博士の研究があらわれ、殊に村上直次郎教授は直接ヨーロッパにこれら文献をさぐって新発見を報告したりした。遂いで新村出先生等に引き継がれて大正以後の南蛮・紅毛学、キリシタン研究が発展盛時を迎え、文学にまた絵画芸術界にまで及んだのであった。この源をなした1人はアーネスト・サトーであり、その書誌であったといっても過言ではない。

明治末から大正にかけての村上、新村先生等を中心としたこの学問の進展は目覚ましく、文献史料の発見、解明もまた素晴らしいものがあつた。あたかも東洋文庫の創設間もなく同館に「ドチリナ・キリシタン」(1592年天草刊)がヨーロッパから回収され、つづいて「サクラメント提要」(1605年長崎刊)、「聖教精華」(1610年)も将来された。京都大学にも布教文献を集めたサトーコレクションが収められて、火に油を注ぐようでもあつた。また、昭和初年には「ぎやどべかとる」上巻(1599年刊)が丸善に、「ばうちずもの授けよう」(刊年不詳)が伊藤長蔵氏によって回収された。この間、現在では世界的に善本の蔵庫で周知の天理図書館の創設があり、また上智大学では夙にキリシタン文献の集書にあたっていた。この上智集書の結果として同校のラウレス師が編纂した書目が1940年に出版されて、「日本キリシタン文献書誌」に一応の締めくくりをみせてくれた。その表題は

9: Kirishitan Bunko: A Manual of Books and Documents on the Early Christian Missions in Japan
.....By Johannes Laures, Tokyo, Sophia Univ.

1940.

である。この書目はその後改訂され1957年に第3版が同大学の“Monumenta Nipponica Monographs. No. 5”として出ている。B5判、560頁の大冊で、“日本ヤソ会刊行書”のみならず、日本関係のキリスト教文献約1400余点の解題書目である。収録の各々についてその内容と所在を明らかにしている点、他に類を求めればStreitの書目(本誌昭49.4号参照)であるが、ある点ではこれに優る。

キリシタン書目を述べて茲に至れば邦文ながら紹介を省くことを得ない書目がある。

10: 天理図書館編

きりしたん版の研究。

1973年3月刊、B5判、vii+360頁、富永天理図書館長古稀記念の出版である。“日本ヤソ会刊行書”とその周辺に限った内容であるが充実して堂々たる書目である。いわば「日本きりしたん版百科」である。サトーに始まるこの書目の研究は、天理本で一応のゴール入りを果たしたといえる。しかし、1900年ごろ以来所在不明の「ひですの経」(1611年長崎刊)の如き、標題紙の書影のみを残したままのものもあり、また、曾て知られざるものの何時出現するかも図り難いことも付け加えておくこととする。

なお国際基督教大学出版の

11: Christianity in Japan: A Bibliography of Japanese and Chinese Sources.

Part I: 1543-1858. 1960. 4to. xxvii+171pp.

12: — Part II: 1859-1912. 1965. 4to. xxi+429+62pp.

13: — Protestantism in English Sources: 1859-1959. 1966. 4to. xxi 125pp.

この三冊の書目の多くは邦語文献の集録であるが、一部欧文を含むので併せ載せておく。

Leon Bakst

by Charles Spenser

9 1/4 × 12 インチ

(St. Martin, N.Y./Academy Ed., London)

昨年、上記の本が出版されたが、これは恐らく、現在、アール・ヌーボー芸術がリバイバルされている傾向にのったものと思はれる。1913年、ロンドンの The Fine Art Society から出版された The Decorative Art of Leon Bakst が一昨年来国の Dover 社から reprint されて出ているが、Bakst の伝記は1924年の彼の死の前後に出版されて以来あまり出版点数がない様である。勿論Bakstに関係の深い Ballets Russes, ディアギレフ、ニジンスキー等を主題とした書籍はその後も出版されており、当然それ等の中では Bakst も言及されているが、Ballets Russes の舞台装置家、コスチューム・デザイナーとして著名な画家レオン・バクストその人の伝記が新しい資料をも含めて出版されたのは暫くぶりであろう。

Bakst の舞台衣裳のデザイン画を多数挿入したこの本は楽しい。彼のシエラザード、牧神の午後への前奏曲などのコスチューム・デザインを見ていると、リムスキー・コルサコフやドビッシューの曲が聞えて来る様である。彼の衣裳デザインがパリのファッション界にバクスト時代をもたらしたのも当然であろう。確かに彼のデザインは当時極めて斬新であり、また感覚的でデカダンスの風

潮を反映したものであった。

この本にはベテルスブルグ生れとされていたバクストの出生地を新資料に従い Grodno としている、ユダヤ人の彼の世に出る道は遠かった。ロシアにフランスのアール・ヌーボーを紹介した雑誌『芸術界』時代のこと、その雑誌のグループ——ディアギレフ、ブノアのこと、後にディアギレフがロシアパレー団を結成しパリで公演を行い、バクストの前例を破った舞台装置とコスチュームがクレオパトラやシエラザードの上演でパリの人々を驚ろかしたことなどがバクストの伝記を通して述べてある。グループの唯一人のユダヤ人としての彼の存在、ディアギレフとの確執、イダ・ルービンスタインのこと、彼の一生を彩る多くの著名な芸術家、ストラビンスキー、シャガール、ジャン・コクトー、フォーキン、その他多くの人物がこの本に現はれて出て来る。

彼の画くエロチシズムの美が女性の動きの中に生彩を帯びて来るのは、パレー衣裳ばかりでなく彼の幾つかのファッション・デザインの中にも表はれている。この本では Women, Fashion and decoration の一章で彼のその才能について述べている。

この本は当時のことを知る楽しい本であり、画家、イラストレーターばかりではなく、ファッション・デザイナー、音楽家、多くの人々の資料としても、単なるコーヒー・テーブルブックとしても面白い。英国版がオリジナルである。

海外ニュース

「米国港湾スト必至」

アメリカの各出版社などからの情報によれば、アメリカの東海岸の港湾ストは今秋避け難いものとなっている。

東海岸全部の港湾をカバーしている港湾労働者の組合の

労働協約は、本年9月30日で期限が切れるので、現在すでに更改の交渉に入っている。しかし、組合側の要求が強く、難行、すでにスト突入は必至と見られている。前回の協約更改のときは、10月1日にスト突入、大統領がタフト・ハートレー法を発動したのは11月26日で、57日間ストが続いた。今回も大統領が介入するのはかなり遅くなるものと見られており、従って、ストはかなり長期にわたるもの

タイムズ・ミラー社

The Times Mirror Company

Times Mirror Square, Los Angeles,
Calif. 90053

タイムズ・ミラー社は米国有数のコングロマリットであることは知られている。その傘下にある各会社は、新聞発行、書籍出版、雑誌発行、情報サービス、TV放送から木材生産に至るまで幅広く活動している。

新聞については、同社の1973年の総売上げの内48%を占めており、Los Angeles Times と Newsday の両紙はアメリカのベスト10新聞の中に選ばれている。Los Angeles Times に例をとると、一日平均の販売部数が平日で102万部、日曜日は120万部と発表されているのを見てもその規模が判る。

書籍の出版社としては、Times Mirror International Medical Book Publishing Group と称する C. V.

Mosby Co. と Year Book Medical Pub. を始めとして、法律書の Matthew Bender & Co., 美術の Harry N. Abrams, Inc. ペーパーバックの New American Library, New English Library, South Western Co. が傘下にある。Webster's New World Dictionary などを出版している World Publishing Co. は最近除外された。

雑誌の出版については、1973年にニューヨークの新本部に雑誌部門が集められ、最近 Times Mirror Magazines, Inc. と改称した旧 Popular Science Publishing Co. が Popular Science 誌のほか Outdoor Life, Golf & Ski などを出版している。

雑誌、書籍とも外国に対する輸出業務は、Times Mirror として一括したものはなく、Medical Group 以外はそれぞれの出版社が直接取扱っている。Harry N. Abrams, Inc. は洋販が日本総代理店に指定されている。

と予想されている。

「ノートンがリブライトを買収か」

W. W. Norton & Company は Liveright を買収する計画を進めている。Norton 社の社長、George Brockwayによれば、同氏と Liveright 社の社長 Gilbert Harrisonの間ではすでに合意が成立しており、正式の契約書を取りかわすばかりとなっている。買収金額はまだ明らかにされていない。

Liveright の現在の社員がどうなるかは決っていないが、Liveright のインプリントは存続されるようである。

Liveright は、1917年に Horace Liveright と Albert Boni により創立、1920年代には、ヘミングウェイやフォークナーの初版を出すなどアメリカ文学出版史上めざましい活躍を示した。Modern Library を創始したのもここである。その後、1969年に、New Republic 誌を出している

Harrison-Blaine に買収されるまでの30年間は、新刊書発行の点では沈滞していた。Gilbert Harrison が社長に就任してからは、活気をとりもどし、廉価な新人作家シリーズを創設、文学や政治の分野の良書を出版、ブック・クラブを作るなど、活躍のほどを示していた。

(Publishers Weekly, 7月15日号より)

「スウェーデン書籍業社の合併」

スウェーデンの総合的書籍業社として知られる Almqvist & Wiksell Bokhandel AB は、本年7月1日、AB Nordiska Bokhandeln に吸収合併された。両者とも同様の企業形態で、AB Nordiska はストックホルムとリンケピングに店を持ち、Almqvist & Wiksell はスウェーデン各都市に書店網を持っている。両社とも教科書販売や雑誌の取次に強く、輸出部門も特に Almqvist & Wiksell は盛んである。

この合併により大企業の特徴が生かされ、専門書の部門が強化されるであろう。両社の活動はこれまで通り続けられる。合併会社の社長には Hans Molander が就任した。

(Börsenblatt 西独版、7月9日号より)

— 紀伊國屋書店提供 —

ニュース

☆ 米国 W. Hein 社の社長、7月上旬来日。

☆ 仏国 France Expansion 社の President, Jacques Dodeman 氏 7月上旬来日。

関 統 計

外国貿易概況 (大蔵省関税局編、日本関税協会発行)
1974年3月号及び4月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和49年3月	\$5,567,000	1月以降累計	\$15,730,000
昭和48年3月	\$5,341,000	〃	\$14,644,000
昭和49年4月	\$5,877,000	1月以降累計	\$21,608,000
昭和48年4月	\$4,322,000	〃	\$18,966,000

(註) 此の統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まれない。

新入会員のお知らせ

今回下記のかたが会員として入会されましたので、お手許の会員名簿にご記入願います。

正 会 員

厚生社 代表者 谷口定一氏
〒530 大阪市北区堂島西町40
☎ (06) 451-2155

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。
お手許の Agent List にご記入願います。

㈱ 紀伊國屋書店 ☎ 354-0131
Centre Belge de Recherches Mathématiques

Belgium

All Publications

㈱ 丸 善 ☎ 272-7211

All Publications of The Gregory's Guide and
Maps Pty. Ltd., Sydney

All Publications of Les Éditions Nagel Genève.

L. E. J. Brouwer Collected Works. Ed. by A.

Heyting. in 2 Vols.

Vol. 1: Philosophy and Intuitionistic Mathematics.

'74. (North-Holland) ca ¥32,500

Davidson, S.I. (ed.) - Aspects of Neuro-Ophthalmology.

'74. x, 208 pp. with figures.

(Butterworths) ca ¥5,980

Methodicum Chemicum. Methods in Chemistry.

Ed. by E. Korte and others. Autumn '74.

Approx. 12-13 Vols.

(Academic Press, N.Y.)

special set price approx ¥600,000

separate price ¥ not set

Speroff, L., R.H. Glass and N.G. Kase. - Clinical
Gynecologic Endocrinology and Infertility.

'73. 275 pp. illus. (Williams & Wilkins) ¥6,100

Structure and Function in Disease Monograph

Series. Ed. by Abner Golden. Approx. 9 Vols.

Vol. 3: Kashgarian, M. & G.N. Burrow. - The

Endocrine Glands. 1974. xiii, 147 pp.

(Williams & Wilkins) ¥3,880

ナ ウ 力 ㈱ ☎ 981-5261

2nd International Symposium on Information Theory.

Edited by B.N. Petrov and Csaki

Papers in English Approx. 360 pages. Cloth.

(Akadémiai Kiado Publishing House of the

Hungarian Academy of Sciences, Budapest)

approx. ¥7,400

㈱ 彰國社 外国課 ☎ 359-3231

Title Agent;

"Shelter" by Shelter Publications.

176 pp.

¥2,800

お し ら せ

Harper & Row, Publishers, Tokyo Liaison Office (北村雅子氏) から、下記書籍の日本販売総代理権を友隣社 (〒113 文京区本郷6-17-9、☎814-0275) が取得した旨の御連絡がありましたので、おしらせします。

Auslander: Groups, Rings, Modules.

June '74. 544 pp, ¥9,620

(Modern Mathematics Series の最新刊)

●第二次大戦史研究資料／リプリント版

〈戦時イギリス内政史研究シリーズ〉

今秋刊行開始

History of the Second World War.

United Kingdom Civil Series.

Ed. by Keith Hancock.

イギリス戦時内閣の決定により、1942年に着手された第二次大戦下のイギリス国内における社会的・経済的・行政的経験を総括する研究報告集。政府部内の利用目的から、各省庁の公文書、ファイル資料、未公開重要資料なども縦横に駆使した専門学者グループによる極めて精確な研究です。このリプリント版には、公文書法の制約から先に公表されたオリジナル版では除かれた未公開資料に属する出典のリファレンスも収録され、一層学術的な価値を高めています。26編にのぼる報告のうち、下記の6編が年内にまず刊行されます。

Introductory:

British War Economy (1949).

by W.K. Hancock & M.M. Gowing.

cloth ¥ 15,120

British War Production (1952).

by M.M. Postan.

cloth ¥ 15,120

Problems of Social Policy (1950).

by R.M. Titmuss.

cloth ¥ 15,120

Statistical Digest of the War (1951).

Prepared in the Central Statistical Office.

cloth ¥ 15,120

General Series:

Coal (1951).

by W.H.B. Court.

cloth ¥ 15,120

Agriculture (1956).

by K.A.H. Murray.

cloth ¥ 15,120

〈ソ連の戦時対外広報紙〉

1974年末刊行

Soviet War News.

Nos. 104-1335 (in 8 units). London, 1941-1945.

clothbound set ¥ 168,000

第二次大戦中、ロンドン駐在のソ連大使館広報部が、連合国側の各大使館向けに発行した英文広報紙。ソ連軍の戦況報告や指導部の見解、市民生活の状況など多彩な記事が盛られ、発行部数も僅か20部という重要かつ希少な資料です。

〈Kraus Reprint, Nendeln〉

日本総代理店

ナウカ 株式会社

本社 東京都豊島区南池袋2-30-19 ☎981-5261
卸課 東京都千代田区神田神保町2-2 ☎264-0023

OSAKA
(313)2388

KYOTO
(771)9111

NAGOYA
(241)9501

SAPPORO
(721)0391

SENDAI
(23)5535

FUKUOKA
(641)6844

昭和49年8月 通巻第88号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329